

大竹英洋 写真展

To the North. 北へ。

— ノースウッズ、そしてアラスカ

2026年6月27日(土)ー8月30日(日) ミュゼぶくおかカメラ館

開館時間/9:00-17:00(入館は16:30まで) 月曜休館(祝日の場合は翌平日) 入館料/一般800円 高校・大学生400円 中学生以下無料 年間パスポート3,500円

※高校生は土・日・祝日、夏休み期間(7/18~8/30)無料 ※65歳以上は640円(免許証などをご提示ください)

※祖父母が孫・ひ孫と一緒に入館料無料(祖父母は富山県在住の方)

※じゃらん.netより入館料の事前オンライン決済も可能です ※上記の割引は併用できません ※令和8年度年間パスポート詳細は裏面をご覧ください

主催/ミュゼぶくおかカメラ館(公益財団法人高岡市民文化振興事業団) 共催/高岡市、高岡市教育委員会、北日本新聞社 後援/チューリップテレビ 協力/株式会社クレヴィス



自然に興味を持ち、オオカミを追って20代で目指した北米の湖水地方「ノースウッズ」。ひとつひとつの出会いをじっくり掴みとりながら写真家の歩みを進めてきた大竹英洋氏は、これまで日本でほとんど紹介されなかったこの地に住む野生動物や先住民の暮らしを25年余にわたり撮り続けてきました。本展は、土門拳賞を受賞した『ノースウッズ 生命を与える大地』から新作を加え、ドキュメンタリー番組で写真家・星野道夫の足跡をたどったアラスカの写真をあわせて110点を紹介します。

大竹 英洋（おおたけ・ひでひろ）

写真家。1975年京都府舞鶴市生まれ、東京都世田谷区育ち。一橋大学社会学部卒業。1999年より北米の湖水地方「ノースウッズ」をフィールドに、野生動物、旅、人々の暮らしを撮影。人間と自然とのつながりを問う作品を制作している。主な写真絵本に『ノースウッズの森で』、『春をさがして カヌーの旅』、『もりのどうぶつ』（以上すべて福音館書店）。2018年、写真家を目指した経緯とノースウッズへの初めての旅を綴ったノンフィクション『そして、ほくは旅に出た。はじまりの森 ノースウッズ』（あすなろ書房）で「第7回梅棹忠夫・山と探検文学賞」受賞。2021年、撮影20年の集大成となる写真集『ノースウッズ 生命を与える大地』（クレヴィス）で「第40回土門拳賞」受賞。2023年、NHKBS「ワイルドライフ」で「アラスカの光と風 星野道夫×大竹英洋 時を超える旅」に出演。2024年、写真絵本『もりはみている』（福音館書店）で「第66回児童福祉文化賞」受賞。



To the North. 北へ。

— ノースウッズ、そしてアラスカ



【関連催事】

大竹英洋スライドトーク&サイン会

- 第1回
「ノースウッズ 生命を与える大地」
6月27日(土) 14:00~16:00
- 第2回
「ALASKA 星野道夫の足跡を追って」
8月8日(土) 14:00~16:00

定員各50名／事前申込不要／要入館料
※混雑状況により整理券を配布します

【夏休みイベント】

- ①とうめいトレカをつくらう
8月16日(日) 10:00~14:00
 - ②カメラをさがせ! わくわくカメラカン 2026
クイズラリーで缶バッジをもらおう
7月18日(土)~8月30日(日)
 - ③まるっとカメラ館
7月26日(日) 10:00~11:15 [参加料300円]
 - ④親子でこどもカメラマン体験講座
7月26日(日) 13:30~15:00 [参加料1,000円]
- ③、④は申込みが必要／詳しくはカメラ館HPをご確認下さい

【カメラ常設展】ライカをめざしたカメラたち

令和8年6月27日(土)~11月8日(日)

【次回展】秋の企画写真展 浅田政志写真展

『今ふたたび! 記念日をつくる記念写真』

令和8年9月5日(土)~11月8日(日)

〈令和8年度「年間パスポート」3,500円(1名様1枚) 販売中〉

年間を通して全ての展覧会を無料でご覧いただけるほか、ご同伴1名様まで無料。カメラ館受付窓口のみの販売となります。
詳しくは当館HPをご覧ください。

【お問い合わせ先】

ミュゼふくおかカメラ館

〒939-0117
富山県高岡市福岡町福岡新559番地
TEL:0766-64-0550 FAX:0766-64-0551
<https://www.camerakan.com>
info@camerakan.com



【アクセス】

あいの風とやま鉄道「福岡駅」から徒歩6分
能越自動車道「福岡I.C.」から車で10分
三井アウトレットパーク北陸小矢部から車で15分 無料駐車場30台